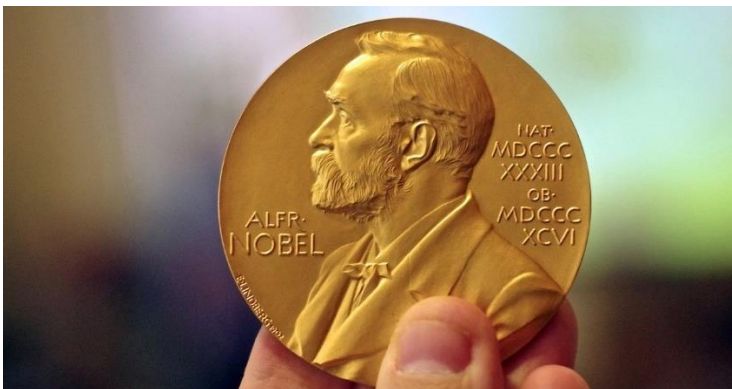


今年もまた、デザインにとって偉大なノーベル賞の年

【訳者注】ここで言われていることは、ダーウィニストでノーベル賞など重要な賞をもらった者は、当然ながら、いないということ、また、常識的に考える科学者（特に生理学者や医学者）ならば、生きているものは、すべてデザインされていると考えている、ということである。目的もなく偶然うまくできた器官などというものを、彼らは考えない。意識するしないにかかわらず、デザインを前提としているからこそ、生理学や医学は進歩するのであって、もしダーウィンしか許されないということになったら、科学は滅びるということである。「デザイン」という言葉は日本語では、服飾や建築のデザインの意味にしか使わないが、英語の design は、意図、計画、目的、さらに計略の意味さえ含んでいる。宇宙の「デザイナー」と言えば創造者のことであって、ここで言われている通り、この考えを「力で黙らせない限り」、ダーウィン進化論など生きられない。生物のすべてが「デザイン」できている。「自然選択」——すなわち、ダーウィンの考えた単なる力学——はデザインではありえない。ここで言っている wordplay (言葉の遊び) によって、彼らは意図的に我々を混乱させている。

Michael Egnor, Evolution News, <https://evolutionnews.org/author/megnor/>

October 10, 2019



そして、19世紀の創造神話にとっては悪い年だった。

ノーベル賞から1世紀以上もシャットアウトを食らった後で、ダーウィニストたちが、ちょっとばかり、しょげているのはよく理解できる。「かつて人間が考えた最も偉大な考え」とか「生物学のすべてを説明する理論」とか言われているものが、一世紀間に、科学の最も栄誉ある賞の一つの、たった一つでも、彼らは得たことがない。仕方なく彼らは、言葉

の遊びでごまかしている。昨年の「方向をもつ進化」(directed evolution) に対する化学賞 (<https://www.nobelprize.org/prizes/chemistry/2018/summary/>) がそれを示している。これについては、Ann Gauger の論文「それは“進化”ではない——酵素の人工作成に対するあるノーベル賞について」を見よ。 <https://evolutionnews.org/2018/10/its-not-evolution-a-nobel-prize-award-for-engineering-enzymes/>

またそれは、なぜ、ダーウィニスト科学者が、彼らの説を疑問とする科学者や教師たちを黙らせるのに、あれだけ多くの時間を法廷で費やすのかの理由がわかる。世界級の科学の場では、ダーウィン進化論などはジョークであり、それに挑戦する者たちを力で黙らせない限り、それは一日ももたないだろう。

優美なりヴァース・エンジニアリング

これに対して、デザイン推論 (inference to design) は今年もまた大きく勝利した。2019 年のノーベル生理学・医学賞は、合同で William G. Kaelin Jr.、Sir Peter J. Ratcliffe、および Gregg L. Semenza に与えられ、授賞理由は「いかに細胞が酸素の利用可能性を感知し適応するかの発見に対するもの」だった。彼らの仕事は、*Forbes* に説明によれば、優美なりヴァース・エンジニアリング (自然物からの逆工学) であった。

<https://www.forbes.com/sites/brucelee/2019/10/08/the-2019-nobel-prize-in-medicine-here-is-what-won-the-award/#6f52f5334b77>

「あなたの身体を、多くの異なった近隣地帯をもつ、大きくて複雑な首都圏だと考えてみよ。赤血球細胞は、あなたの肺で酸素を拾い、次にその酸素の分子をあなたの血管に届ける、小さな Ubers 会社の配車のようなものだ。血管はあなたの身体のいろいろな部分に通ずる道路の役目をしている。道路がボストン地域のいろいろな場所で異なっているように、血管の密度やネットワークは、身体の全体を通じて異なっている。したがって、あなたの身体のあらゆる部分が、同じ量の血液と酸素を受け取るわけではない。これらの違いは、あなたの血液循環が一般的に、減少したときに悪化する可能性がある。たとえばあなたが、マカロニとチーズを食べ過ぎた後、寝椅子に横たわっているとき。あるいは、あなたの身体の特定の部分の血流が、たとえば出血や血液凝固のために、支障を起こしたときだ。

したがって、うまく管理された都市のように、あなたの身体は、その周りのそれぞれの場所で、何が起きているかを感知し、それに応じて酸素のレベルを調整する、いろいろな方法を必要としている。あなたの酸素供給を調節する方法の一つは、一般には、呼吸の頻度を変えることである。頸動脈はあなたの首の主たる血管で、しばしば殺人ホラー映画で、血を吹き出す血管である。これらの動脈には、「頸動脈小体」と呼ばれ

る構造が含まれており、そこを通る血液の酸素レベルをチェックすることができる。もし酸素レベルが低すぎると、頸動脈小体は、神経を通じてシグナルを送り、あなたの呼吸頻度を増やすことができる。酸素レベルが高すぎると、頸動脈小体は、呼吸を緩やかにする信号を送る。これによって、あなたの肺と血液循環に入る酸素の全体的な量は調整できるものの、それだけでは、あなたの身体を通じてもっと細かいレベルに入っていく酸素を調整することはできない。…

デザイン推論を役立てる

「あなたの身体を、多くのさまざまな近隣地帯をもつ、大きくて複雑な首都圏と考えてみよ…うまく管理された都市のように…その近隣のそれぞれの場所で、何が起きているかを感知し、それに応じて酸素のレベルを調整する」…科学者は、暗黙のうちに（そして時には静かに、明示して）尋ねる：——「この構造物はどのようにデザインされているのか？その目的は何か？どのように働くのか？」しばしば、生きたシステムの研究を導くものとして、デザイン推論（design inference）を用いることは、膨大な分け前をもたらすことがある。有効な生物科学のほとんどは、生きたシステムのリヴァース・エンジニアリングを行っている。このすべてはデザイン推論である。

「偶然と生き残った者の生き残り」推論は、科学や医学にとって無価値である。ダーウィニズムの推論は、無神論者の創造神話としてのみ価値があり、その目的のために、それは長いこと走ってきた。ダーウィニズムとは、科学を装った、一連の「それだけのお話」である。おそらくノーベル文学賞が、ダーウィニストには最もふさわしいであろう。

——以上